

令和6年シラス曳網調査結果 (第8報)

令和6年9月25日
福島県水産海洋研究センター

1 調査日

9月20日

2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深 10m)、141-05E(水深 28m)、
141-10E(水深 37m)、141-15E(水深 53m)

3 調査手法

調査指導船拓水、中層トロール網(魚捕部の目合い 1mm)

水深 10m 付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網 (船速 約 2kt)

4 調査結果

(1)表面水温(図 1)

24.6°C~25.4°C

(2)シラス採捕数(図 1)

1 定点あたり 4~50 尾 (合計 103 尾)

今回のシラス採捕数は前回調査時(8月19日、51~4,398尾、合計5,011尾)と比較し、減少しました。

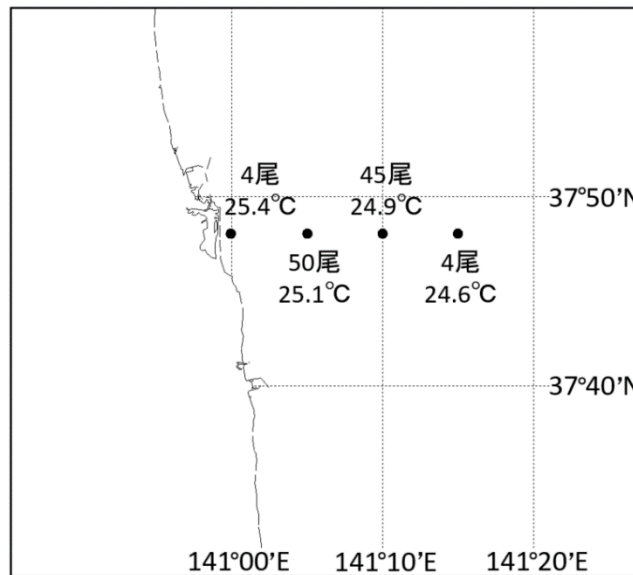


図1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図2)

全長範囲：6.5～31.7mm

全長10mm前後の群のシラスが採集されました。

141-00Eでは全長20mm前後、141-05E、141-10E、141-15Eでは全長10mm前後のシラスが採集されました。

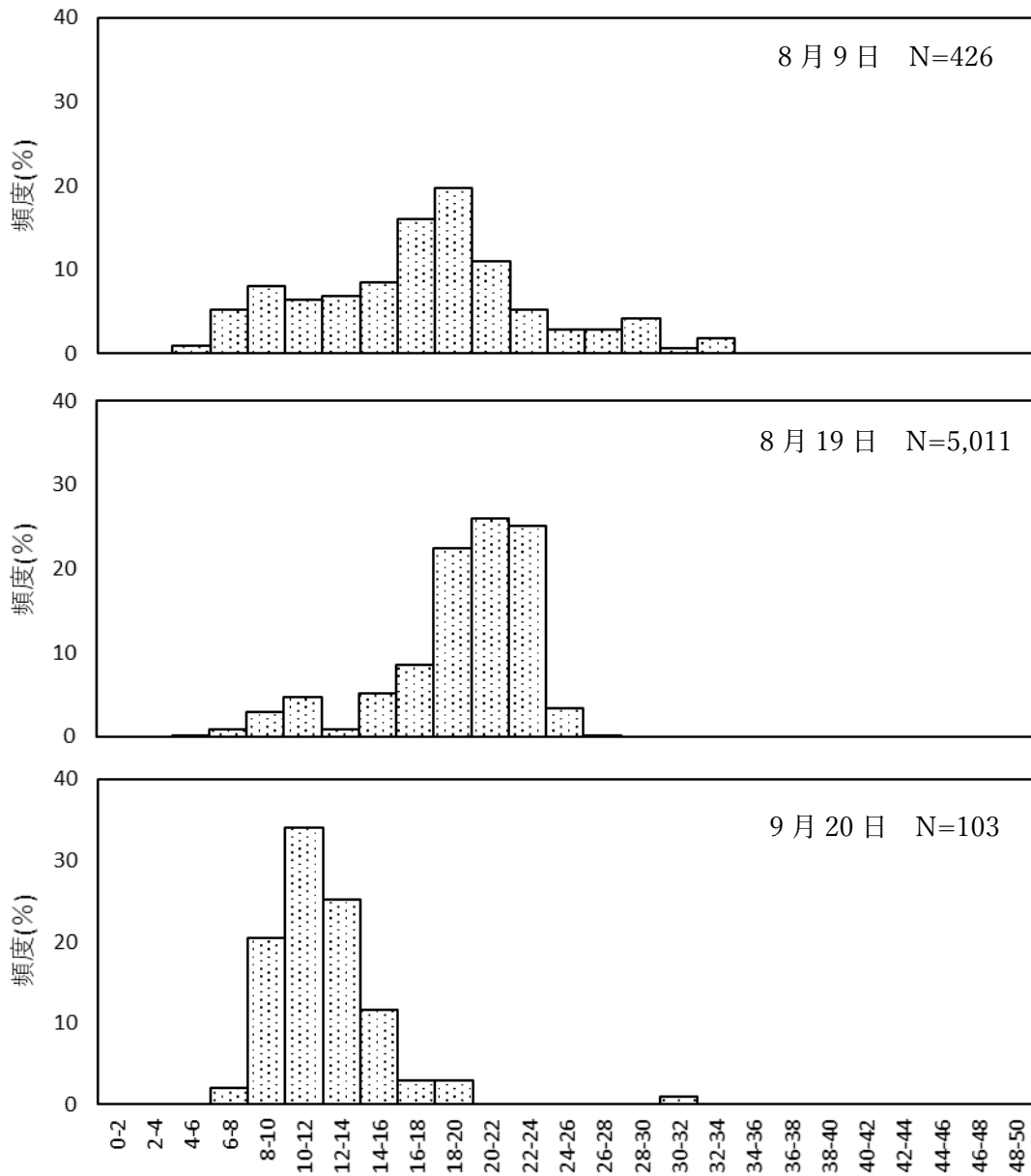


図2 カタクチイワシシラスの全長組成

(4)過去の調査結果との比較(図3)

令和6年9月のシラス採捕数は平成18年以降で3番目に少ない結果となりました(図3)。なお、福島県の年別シラス漁獲量を図4に示します。

今年度はいわき地区では6月3日より、相双地区では6月10日よりシラス漁が開始され、8月末までに約631トン(速報値)の水揚げがありました。

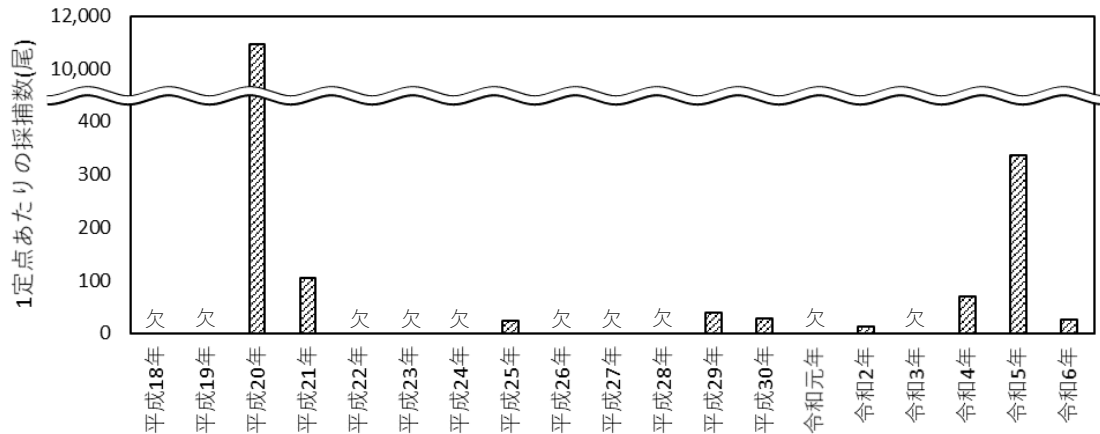


図3 相馬海域における9月の1地点あたりの採捕数

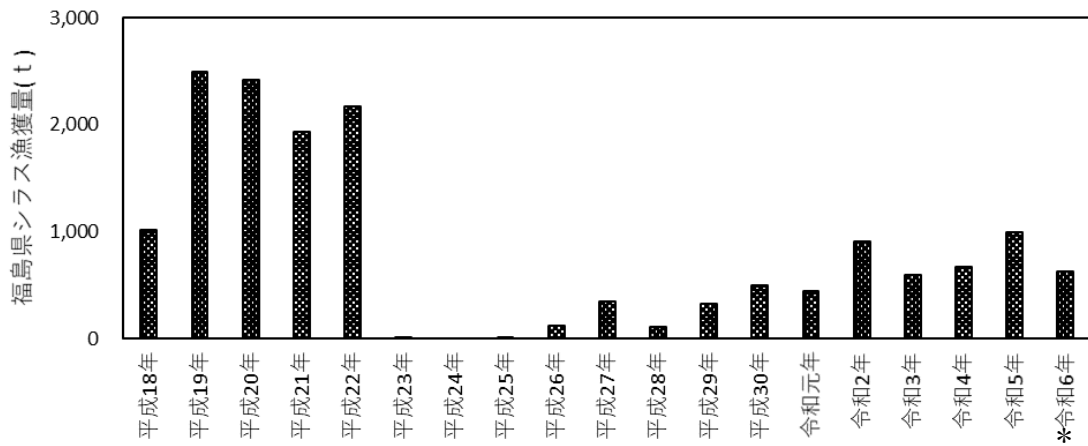


図4 福島県の年別シラス漁獲量

*8月31日までの速報値